

3) 各種移動主体に対する取り組みと期待する効果 (A4 縦1頁で記入)

本事業およびバス路線再編によって、各種移動者（バス利用者、自家用車利用者など）に対してどのようなサービスを行い、どのような効果を期待するのか。4 縦1頁以内で記述してください。

■現在のバス利用者のメリット・デメリット		
	メリット (どこがどのように良くなるか?)	デメリット
①【平日・朝】まちなか(都心軸上)を移動する人(通勤等)	*路線を選択する必要が少なくなります。(方面別の乗り場が一元的にある場合) *定時性が向上します。	*(方面別の乗り場が一元的でない場合)平行(重複)路線の乗り場がBRT 駅から離れるため分かりにくくなります。 *道路中央に駅ができる箇所では駅と歩道を往来する必要があります。
②【平日・昼】まちなかを移動する人(買物等)	*路線を選択する必要が少なくなります。(方面別の乗り場が一元的にある場合) *定時性が向上します。	*(方面別の乗り場が一元的でない場合)平行(重複)路線の乗り場がBRT 駅から離れるため分かりにくくなります。 *道路中央に駅ができる箇所では駅と歩道を往来する必要があります。
③【土休日】まちなかを移動する人(買い物等)	*路線を選択する必要が少なくなります。(方面別の乗り場が一元的にある場合) *定時性が向上します。	*(方面別の乗り場が一元的でない場合)平行(重複)路線の乗り場がBRT 駅から離れるため分かりにくくなります。 *道路中央に駅ができる箇所では駅と歩道を往来する必要があります。
④【平日・朝】郊外からまちなかの施設に移動する人(通勤等)	*都心軸へ流入してくる各路線(各地～交通結節点)の運行本数が増加します。 *交通結節点における行先の選択肢が増加します。 *パーク&ライドやバス&レールが利用しやすくなります。(移動時間が短縮)	*交通結節点で乗換えが必要になります。(都心軸へ向かう場合)
⑤【平日・昼】郊外からまちなかの施設に移動する人(買物等)	*都心軸へ流入してくる各路線(各地～交通結節点)の運行本数が増加します。 *交通結節点で行先の選択肢が増加します。 *郊外における運行本数が増加します。	*交通結節点で乗換えが必要になります。(都心軸へ向かう場合)
⑥観光客など市外からの来訪者	*行先や乗り場が分かりやすくなります。交通結節点にレンタサイクルなどを設置することで行動範囲が広がり、街の散策がしやすくなります。	*行動範囲が広がると交通結節点で乗換えが必要になります。
⑦その他	交通結節点に駐車場・駐輪場ができるとパーク&ライドやサイクル&ライドが可能になり環境にやさしくなります。	都心軸周辺の一般道路で道路渋滞が起きます。
■自動車利用者に公共交通(BRTおよびバス)を利用してもらうための取り組み <p>現行バス路線の長大路線を減らし、短い距離の運行本数を大幅に増やすことで利用者は一日の行動をバス時刻にあわせる必要がなくなります。これにより利用者が少しでも増えることで自家用車利用が減少し、新潟市中心部の道路渋滞緩和や排出ガス軽減につながり、環境にやさしい街づくりが可能になります。また無理なく公共交通を利用していただくために交通結節点やバス停周辺の駐車場や駐輪場の整備を新潟市にお願いしていきます。</p> <p>また、平成23年度に実施した「古町ワンコインバス」では約17%の自家用車利用者がバスを利用していました。路線沿線商業地域と連携して運賃の割引やりゅうと(ICカード)のポイント還元率を高めることでバスの利用者が優遇される様に取り組みます。</p>		